

「学びをつなげ 広げ 深める児童の育成」
～SDGs の視点に立った主体的・対話的で深い学びを通して～

第3学年図画工作科学学習指導案

令和元年10月23日（水）第5校時

対象 3年1組 33名

齋藤 有加理学級

授業者 鈴木 陽子

1 題材名 大地のおくりもの —earth in mind—

2 題材の目標

- 身近にある自然の土を集め、篩ふるいにかけたり、絵の具にして表したりしながら、形や色、触り心地などの感じが分かり、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて工夫して表す。
- 形や色などの感じを基に自分のイメージをもちながら、造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方を考えるとともに、土の色の多彩さ、自分たちの作品などから見方や感じ方を広げる。
- 形や色などを視点に、比べたり、選んだり、作りだしたりして、進んで表現や鑑賞をする学習活動に取り組む。

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身近にある自然の土を集め、篩にかけたり、絵の具にして表したりしながら、形や色、触り心地などの感じが分かり、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて工夫して表している。	形や色などの感じを基に自分のイメージをもちながら、造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方を考えるとともに、土の色の多彩さ、自分たちの作品などから見方や感じ方を広げている。	形や色などを視点に、比べたり、選んだり、作りだしたりして、進んで表現や鑑賞をする学習活動に取り組もうとしている。

4 材料や用具

児童：大地の土を採取し、天日干しをする。筆、タオル、筆記用具等

教師：和紙、洗濯糊（PVA）、篩（味噌漉し、茶こし）、ガラス瓶、刷毛等

5 題材の指導について

（1）教材観

本題材は、身近にある土をほんのひとにぎり採取し、絵の具をつくることを楽しみながら表したいことを見付け、土の色や形のよさや面白さなどを感じ取る、鑑賞と絵に表す活動である。

人類が誕生するはるか前に地球上に土があった。人間は大昔からこの土を使い生きてきた。森、

農作物、家屋、食器、工業製品、薬、文具。人間やさまざまな生物、その命は土に支えられて生きている。「土」を素材として形や色に表しながらよさを感じ取っていくプロセスでは、自然の美しさ、不思議さ、神秘さに目を見はる感性や、いのちの循環、生かされている自分の命への想像のたなびきをも大切にする。

児童の身近にありながら、手に触れることや遊ぶことの少なくなった土である。自分で自然の土を採取する。しかし、実際には、五本木の森の土は、草が生えないよう、ダスト舗装されており、スコップがささらない。土を探し始めたが、コンクリートばかりである。身近に採取できる「土はどこにあるのか」という問いに出合う。そこで、家族や親せき、地域の人や場とも関わり、少し遠くの場所にある土も集めてみる。梅雨時から夏へと時間をかけ、季節がうつろう中で、何とかして集めた貴重な土を天日に干し、篩にかけ、比べて見る。土の色の多彩さ、美しさ、匂い、時間とともに変化していく質感などをあらためて感じ取るであろう。汚れたから洗う、きたない土ではなく、美しいもの、命を育むかけがえのないもの、児童が新たな命を吹き込む再生としての、土を感じる内的な価値変容の学びである。

本題材を通し、児童が夢中になって土に働きかけ、働きかけられ、進んで見たり、触れたり、表したり、話したりするなど、造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げていくことができると考えた。

(2) 児童観

本校はユネスコスクールであり、ESD（持続可能な開発のための教育）の考え方を推進している。全教育活動を通して自然、他者、社会、自分の心と体に関わりながら、学びのつながりや命のつながりを大切にしてきた。これまで大切にされてきたこと、これからはずっと大切にしたいこと、見直したいことなど、持続可能な未来を児童と大人、地域と一緒に問い、学び続けている。

本学級の児童は図画工作の時間を楽しみにしてくれている。3年生になり6か月が経ち、安心して学習に取り組んでいるのは担任の力によるところが大きい。4月からの図工の時間では、「五本木の森・春」、「自分の色・形いいかんじ」、「切って・かきだして・くっつけて」、「くぎうちトントンドン」、「色合い・まざり合い・ひびきあい」、「クモさんの工作」、「色水の形」、「水・木・金・土の絵の具でおさんぽ」、「光のさしこむ絵」などの造形活動に取り組み、様々な感覚や行為の経験を重ねている。手や体全体の感覚を働かせて材料や用具を扱い、表し方を工夫することに意欲を示し、友だちの発想や表し方に関心を持ち、周りとの関わりも活発な児童たちである。

本題材の学習の前に3年生児童に「なぜ、図工を学ぶのだろう」と問いかけた。「絵や工作がうまくなるため」、「もしかしたら発明家になれるかもしれないから」、「図工の勉強が役立ち建築家になれる」、「科学者になれるかもしれない」「自然やきれいを感じるため」、「想像力を広げるため」、「イメージをつくる」、「感じる力」、「自由を感じるため」、「形や色を学ぶため」、「新しいことができる」、「いろいろなことに興味をもつため」、「友達の作品を見ながらやると、いろいろなことができるようになるから」、「いろいろなものでついたり、かいたりするのは、みんながえがおになれるから」、「図工が楽しいから」、「図工は将来の考える能力をいっぱいにしてくれる」、「工作は楽しいし、みんなとちがうものをつくれる」、「工夫を学ぶ」、「エコや自然を学べるから」など本質をとらえた記述が多くあった。児童が自分の思いを具体的な形や色に表したり、自分の考えを大切に鑑賞

したりすることがつくりだす喜びになることから、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、一層主体的に生きていく力を培いたい。

(3) 指導観

- 知識・技能の指導に当たっては
 - ・基底材は堅牢性のある厚手の和紙を小さめに、様々なサイズに切っておき、何枚も試みることができるようにする。
 - ・材料や用具に働きかけ、働きかけられる時間を十分に確保する。
- 思考・判断・表現の指導に当たっては
 - ・導入部は、児童を中央に集め、実際に材料や用具を使ってやって見せながら、ねらい、材料や用具の可能性、見通しをもてる演示を行い、主体的に活動を展開できるように手渡し委ねる。
 - ・採取した土を同じ形のガラス瓶に入れ、採取地と名前を書いたラベルを貼り、教室の中央に置き、児童が見比べ、選べるようにする。また、材料を取りに移動しながら自然に友達の活動や作品に触れられるようにする。
 - ・教師は、児童が自分の表したいことや思いに合う表し方をつくりだすプロセスを見守り、一人一人の手掛けている形や色、活動の姿などから、今、何を感じ、考えているのか、表しつつあるのか、身を重ねるようにして感じ、読み取る。
 - ・基底材の和紙と同系色の木製スプーンや紙皿のパレットを使うことで土の色や形をより味わえるようにする。
 - ・表した作品を「大地のおくりものギャラリー」に展示し、イメージやタイトルなど簡単な言葉を添え、自然に対話が生まれる場を設定し、友達のよさや表し方から見方や感じ方を広げることができるようにする。
- 主体的に学習に取り組む態度の指導に当たっては
 - ・題材の可能性、魅力、見通し、選択肢、自由に鑑賞できる学習環境を設定し、自分の思いで学習活動に進んで取り組めるようにする。
 - ・発問は、学びの主体である児童が形や色などを根拠に考えをもてるような「問い」を据える。
 - ・異なった捉え方や感じ方を大切にし、お互いのよさや個性などを認め合う学習活動にする。

6 研究主題との関連

(1) SDGs と本題材との関連

本題材は、SDGs 17GOALS の「4 質の高い学びをみんなに」に向かう、ESD の考え方を大切にした学びである。「問い」をもち、心や体をいっぱい働かせ、試行錯誤しながら、自己や他者、様々な状況との対話を重ね、自分にとっての意味や価値をつくりだす内的な価値変容の学びのプロセスの中で、学びを深めたいと考えた。また、大地の土を素材にして、不思議さや美しさに心を動かす感性や想像力、創造性を培っていくことは、「15 陸の豊かさを守ろう」、「14 海の豊かさを守ろう」、「13 気候変動に具体的な対策を」等へも波及する。「心に地球を」もち SDGs 17 の目標はひとつつながりになって、感じ、考え、問い続ける児童を育てていきたいと考える。

その他に、他教科等横断的な取り組みとして、総合的な学習の時間「SDGsを学ぼう」において、SDGs 17のゴールの中にある「15陸の豊かさも学ぼう」に関連させることで、さらに学びをつなげ、広げ、深める児童の姿を目指すことにした。

栄養教諭の食育と関連し、無施肥無農薬の枝豆農家の方（山形県）とインターネットを介したビデオ通話ツールでつながり対話をした。一度目は、総合的な学習の時間で農業に携わる農家の方の人となりに触れ、秘伝豆を五本木の中庭で育て、8月に花を咲かせ、9月に実った命にも心を寄せた。二度目は、図工の時間に、素材となる大地の土そのものに触れながら、果てしなく広がる枝豆の大地に、児童から「この土はだれがつくったのか」という問いが生まれる。「雑草、虫、太陽、雨、枝豆と一緒に自分（土）で、時間をかけてつくったのです。」と話す農家の方に、児童は返す言葉が見つからなかった。その大友さんからいただいた畑の土も篩にかけて瓶に詰めた。

また、本題材の学習活動や作品をもとに、国語科と連携し、詩に表現をしていくことを試みる。

（2）授業改善の視点

本題材を通した資質・能力を高める授業改善の視点は、5. 題材の指導について（3）の指導観に記した。

① 指導計画の共有化について

	【主体的な学び】の視点	【対話的な学び】の視点	【深い学び】の視点
子ども の 学 び の 姿	<ul style="list-style-type: none"> ○大地の土に進んで働きかけ、働きかけられる。 ○形や色をもとに自分のイメージをもちながら、発想や構想をする。 ○体全体の感覚を働かせ、試行錯誤して取り組む。 ○自分の思いに合う形や色、表し方を選択する。 ○失敗したら他の方法を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○よさや面白さを感じ取る。 ○自分の感覚や行為を通して形や色が分かり、イメージをもつ。 ○多様な感じ方、考え方に気付く。 ○他者のよさや思いがわかる。 ○思ってもみなかった自分の感覚と出合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の形や色をもとにイメージを再構築する。 ○つくりだす喜びを味わい、楽しく豊かな生活を創造する。 ○自然や大地の不思議さや美しさに感性や想像力を働かせる。

② 発問・指示の具体化について

児童が主体的に学習活動を展開し、「夢中・没頭」の学びに向かえるよう、本時のねらい、材料や用具の魅力、行為の可能性を吟味した言葉と演示を行うことで、教師に身を重ねてもらい、活動を手渡し、委ねる。

③ 手だての明確化について

ア「考える視点」について

自分の感覚や行為を通して形や色が分かり、イメージをもてるように、土を比べて見る、選択する、絵の具をつくり表し、見るなどの自己の思考の時間を十分に確保する。

イ「交流する視点」

材料（土、和紙）を教室の中央に置き、児童がそれらを取りに移動する、「大地のおくりものギャラリー」に作品を貼りに行くなど、自然に友達の活動や作品に触れ、見ることができる環境

にする。視点については、造形的な見方・考え方に関する内容や本時のねらいに対を成すものとする。

ウ「活用する視点」

これまでの学習や本時の学習で感じ考えたことや形や色などを視点にして、自分にとってどんな学びがあったのか問い直し、次々の学びに生かし、見通す。

7 題材指導計画 全6時間

過程		主	対	深	学習目標	・学習活動	□指導上の留意点 ◇評価
次	時						
第一次	1 ～ 2		○		身近な自然を感じながら、大地の土をひとにぎり採取することを楽しむ。 採取した土を篩いにかけることを楽しみながら、色や形、感触を味わう。	問「土はどこにあるのだろう。」 問「篩 <small>ふるい</small> にかけて土は、どんなかんじがするだろう。」 ・採取した土を協働して篩いにかける。 ・篩った土をガラス瓶につめ、採取地と名前を書き、並べたり置きかえたりして、見る。	□土採取の方法や安全等を保護者に周知し、公園課にも連絡。 □2種類の篩で、段取りを考えながら、友だちと楽しい活動をつくりだせるようにする。 ◇身近にある自然の土を集め、篩にかけながら、形や色、触り心地などの感じが分かっている。 (知・技：観察、対話)
	3	○			枝豆農家の方と対話をして、大地の土への思いや感じ方に出合う。	問「農家の方は大地の土をどんなふうに感じたり、思ったりしているだろう。」 ・山形県の無施肥、無農薬で枝豆栽培をする農家の方と大地の「土」についてインターネットを介したビデオ通話ツールでつながり、対話する。	□「土」を視点に対話が深まるよう、事前に児童が「問い」を考えておく。 (態：観察、対話)
第二次	4 本 時		○		土で絵の具をつくり、表しながら、色や形、触り心地などの感じから、よさや面白さを感じ取る。	問「大地の土の色や形には、どんな〈いいな〉〈おもしろいな〉〈ふしぎだな〉があるだろう。」 ・土で絵の具をつくり表しながら、形や色	□自分とは異なった捉え方や感じ方をしている作品に着目して、言葉を書くようにする。 ◇形や色などの感じを基に自分のイメージをもちながら、造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方を考えるとともに、土の

					<p>などのよさや面白さを味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大地のおくりものギャラリーで友だちのよさや感じ方、考え方の違いを感じ取る。 	<p>色の多彩さ、自分たちの作品などから見方や感じ方を広げている。</p> <p>(思考：観察、対話、鑑賞カード)</p>
第三次	5 6	○	○	<p>小さな作品から感じたこと、想像したこと、見たことなどから表したいことを見付け、思いに合う表し方を工夫して絵に表す。</p>	<p>問「土の色や形を組み合わせると、どんな想像の世界が広がるだろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に表した小さな作品を大きな和紙に貼り、感じたこと、想像した、見たことから思い付いたことを工夫して表す。 	<p>□小さな紙の置き方や組み合わせの感じから発想できるようにする。</p> <p>◇形や色などの感じを基に自分のイメージをもちながら、造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方を考えている。</p> <p>(思：観察、作品、対話、経過画像)</p> <p>◇手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて工夫して表している。</p> <p>(技能：観察、対話、経過画像)</p> <p>◇形や色などを視点に、比べたり、選んだり、作りだしたりして、進んで表現や鑑賞をする学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>(態：観察、対話、経過画像)</p>

7 本時の指導（3時間目／全6時間）

(1) 本時の目標

土で絵の具をつくり、表すことを楽しみながら、大地の土の色や形などのよさや面白さを感じ取る。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・予想される児童の姿	□指導上の留意点 ◇評価規準と評価の方法
5分	<p>○前時までの学習を振り返り、本時の活動のねらいを確かめ、見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 篩にかける ・ 大友さんの土はふかふか、温かいな。 	<p>□写真を見て、活動を具体的に振り返る。</p> <p>□土で絵の具をつくり、表しながらよさや面白さを感じ取る活動を演示して見せながら、めあて、材料や活動の見通しを児童に手渡し、委ねる。</p>
30分	<p>○土で絵の具をつくり、小さな和紙に表しながらよさやおもしろさを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まず、自分の土でつくろう。 ・ のりを入れたら、色が変わった。 ・ ○○さんのまちかど公園の土は明るい色だな。 ・ ここに暗い色を重ねてみよう。 ・ 「冬のはじめ」のイメージかな。 ・ 「夕やけの公園」の感じがしてきた。 <p>○大地のおくりものギャラリーに展示した土や自分たちの作品を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この作品はやさしさを感じる。のりを多くして薄い色にしているからかな。 ・ 私は少しの色で表したけど、○さんはたくさんの色を組み合わせっていて、にぎやかな感じがする。 ・ ぼくの土をみんなが使っている。 ・ 話しながら見て「二つの自然」は空と大地だとわかって、なるほどと思った。 ・ 「土のパーティー」が面白いと感じた。いろいろな土の色や形の組み合わせをして表しているからだと思う。 <p>○今日の学びを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土を集めて、表して見て、土はこんなにいろんな色があることが分かった。 ・ 外国の土もあって大地はつながっているのだなあ。 	<p>A 考える視点</p> <p>【自己の思考】</p> <p>☆自分の感覚や行為を通して、イメージをもつ。</p> <p>□土に自ら働きかけながら見付けたよさや面白さを、児童自身が気付くようにし、手掛けながら感じ、考えていることに教師は身を重ねるように寄り添い見守る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土本来の色を味わうよう、パレットでの混色はせず、画面で組み合わせたり、重ねたりするように伝える。 ・ 作品のイメージを書き添え、ギャラリーに貼る。(付箋紙) <p>B 交流する視点</p> <p>【思考の交流】</p> <p>☆大地のおくりものギャラリーの土や作品を鑑賞し、友だちの考えや思いのよさや違いに気付く。自分のよさに気付く。自分の見方、感じ方を広げる。</p> <p>□どのように感じたのか、思ったのか、根拠や理由を形や色などを基に話したり聞いたりするように促す。</p> <p>◇形や色などの感じを基に自分のイメージをもちながら、造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方を考えるとともに、土の色の多彩さ、自分たちの土や作品などから見方や感じ方を広げている。(思：対話)</p> <p>□感じ取ったよさや面白さを発表する。</p>
5分 問い直し 見通す	<p>○片づけをする。</p>	<p>c 活用する視点</p> <p>【思考のまとめ】</p> <p>☆「いいな」「おもしろいな」「ふしぎだな」を枝豆農家の方に伝える。</p> <p>□児童の実態に応じて次時の始めにワークシートに書く。</p>

(3) 板書計画

大地のおくりもの

めあて
土で絵の具をつくり、表すことを楽しみながら
土の色や形よさやおもしろさを感じとる。

問 大地の土の色や形には、
どんな「いいな」「おもしろいな」、「ふしぎだな」があるだろう。」

(4) 学習環境

